

## 1992年 第2回日本吹奏楽アカデミー賞

### 演奏部門

北 爪 利 世 殿



#### 推薦理由

北爪利世氏は官立東京音楽学校（現在の東京芸術大学音楽学部）開校以来（管楽器専攻の課程設置は昭和4年）初めてのクラリネットプレイヤーとして卒業された。

在学中より新交響楽団（現在のNHK交響楽団）クラリネット奏者山村哲夫氏と師弟の関係にあり、その後オーケストラプレイヤーと活躍された。

その傍ら室内楽演奏にも力を尽くされた。

そして日本クラリネット協会創立に努力され初代会長となり現在、最年長の現役演奏家として活動中の姿は他の範となるものである。

北  
爪  
利  
世

#### 推薦内容

東京放送管弦楽団（JOAK）を皮切りに東京フィルハーモニー交響楽団を経て東宝交響楽団（現在の東京交響楽団）を退団するまでクラリネット首席奏者として約40年余り多数の聴衆の耳を楽しませた。

又いくつかの有名な四重奏団との共演もあり、特に東京管楽器協会でのアンサンブル演奏会は日本の管楽器発展に寄与すること大でありました。

そして教育に熱心で多くの優秀な学生を養成した。特筆することは1987年より室内楽演奏会に力を入れ1990年の二回の演奏会に引続いて1991年1月24日練馬文化会館に於ける「北爪利世クラリネット五重奏の夕べ」は見事な演奏で「若人よ、続けろ」とばかり身をもって示された。

#### プロフィール

昭和16年、東京音楽学校（現・芸大）卒業、山村哲夫氏に師事。同年秋、中央交響楽団に入団。のち、東京放送管弦楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、東宝交響楽団、東京交響楽団首席クラリネット奏者（昭和23年から昭和61年まで）の現在に至る。

東京管楽器協会会員。桐朋学園大学音楽学部名誉教授、日本クラリネット協会名誉会長。楽団の正規の仕事以外に、独奏家としても著名で、室内楽方面でも多くの有意義な仕事を残している。また、山形大学教育学部特設音楽科・日本大学芸術学部音楽学科・洗足学園大学音楽学部・相愛女子大学音楽学部・埼玉第一高校などで、後進の育成にも、大きな成果をあげている。

## 1992年 第2回日本吹奏楽アカデミー賞

### 作曲部門

保 科 洋 殿



#### 推薦理由

昭和40年代の始め、まだ海外の作品に頼っていた我が国吹奏楽界にあって優れたオリジナル曲を発表しその活性化に貢献した。

保科洋氏は、その後もコンスタントに作品を発表し、内外から高い評価を得、国内・海外にて出版されており、多くの団体が演奏やレコーディングを行っている。戦後の我が国吹奏楽作品の芸術的地位向上に寄与し、現在の吹奏楽界に大きな貢献をした。

保  
科  
洋

#### 推薦内容

近年特に、一段と高い評価を得て、1985年に関西学院大学吹奏楽部委嘱による「祝典舞曲」が、1990年にマスターミュージック社より出版され、1991年に日本に紹介された他、その他数曲の作品が海外の出版社から出版予定である。レコーディングでは、1988年の作品「饗宴Ⅰ」が1991年にCD化された。また、1991年に「ファンファーレ アンド セレブレーション」を発表し、積極的な創作活動を行っている。

#### プロフィール

1936年、東京に生まれる。1960年東京芸術大学作曲科を卒業した。在学中の1957年に毎日音楽コンクール作曲部門第3位入賞（室内楽曲）、同じく1960年にも毎日音楽コンクール作曲部門第1位（管弦楽曲）になる。数多くの吹奏楽曲、管楽器のための作品、その他オペラ、オーケストラ曲を作曲。1969年に愛知県立芸術大学助教授。1982年より兵庫教育大学教授となり現在に至る。

## 制作部門

岩井直溥  
東芝EMI株式会社 殿  
(財)ヤマハ音楽振興会



### 推薦理由

1972年ヤマハ株（当時日本楽器製造株式会社）が管楽器普及の一環として東芝EMI株（当時東芝音楽工業株式会社）とタイアップを行い、吹奏楽界にポップスを普及させることを目的に『ニューサウンズ イン プラス』シリーズがスタートした。以来20年間我が国のスクールバンドを中心にこの『ニューサウンズ イン プラス』は確実なファンと演奏実績を誇り、吹奏楽ソフトのヒット商品（CD&楽譜）として吹奏楽のポップス普及に貢献した。

指揮並びに編曲を一貫して担当した岩井直溥氏は、本シリーズの指導並びに実演においてもバンド界に与えた影響、並びに貢献度は大である。

### 推薦内容

1. 1972年第1回『ニューサウンズ イン プラス』を発売以来、年1回の発売を続け、LP、CDは現在20集まで発売されている。その発売曲数は200数十曲を数える。特にCDは平均10,000～20,000枚以上のベストセラーを続けている。
2. 同じく1972年より(財)ヤマハ音楽振興会より同シリーズの楽譜をLP、CDと同一内容にて出版し、その発行楽曲数は200余曲にのぼる。この楽譜出版が全国スクールバンドを中心とした演奏活動の大きな普及に結びついている。
3. 『ニューサウンズ イン プラス』のシリーズの監修、編曲、指揮を20年間担当された岩井直溥氏の功績は多大である。

氏の編曲はどここのバンドでも高い演奏効果としゃれた編曲で常に人気と好評を得ている。氏の編曲数は本シリーズ全体の3分の2以上にのぼる。又、岩井氏は本シリーズの楽曲を積極的に全国のバンドに指導し、実演を行い続けており、まさに吹奏楽、ポップスのレパートリーの基礎を作り上げたと言える。

### プロフィール

岩井 直溥

昭和22年、東京芸術大学器楽科（ホルン専攻）卒業。芸大在学中より「アニー・パイル・オーケストラ」に所属し、トランペット奏者として活躍。

その後フランキー堺が新しく編成した「シティ・スリッカーズ」にプレイヤー兼アレンジャーとして加わり、本格的なアレンジャーの道に進む。

昭和34年、東芝EMIの専属アレンジャーとして入社。以来数多くの作品を残す。現在は、東芝での仕事はもとより全国各地の吹奏楽クリニック及び学校・一般団体の定期演奏会等に活躍しており、ポピュラーを中心とした作曲・編曲は5千曲を越し第一人者である。

東芝EMI(株)邦楽統轄本部第3本部A&R1部

学芸部門の企画、制作、宣伝を行う。

学芸部門とは、吹奏楽全般、教育教材、国内クラシック、日本伝統芸能、他を担当する部門である。特に吹奏楽、教育分野には弊社の看板ジャンルとし重点制作を行っている。

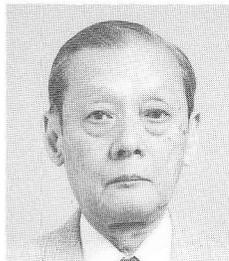
(財)ヤマハ音楽振興会 出版部

財団法人ヤマハ音楽振興会は、1966年、公益的立場と恒久的視野のもとに広く音楽教育・普及に取り組むことを目的に、文部省の認可により設立されました。財団の基本的役割には、次の4つの柱が指標として掲げられています。●「ヤマハ音楽教育システム」の指導内容の研究と展開。●音楽を広く社会に普及させるための音楽指導者の養成。●各種音楽コンテスト・イベントなどを通じての音楽普及活動の実践と振興。●CDや書籍、教育システムの教材、テキストを通じての音楽普及活動の補充強化です。

## 1992年 第2回日本吹奏楽アカデミー賞

### 研究部門

赤松文治殿



赤松文治

#### 推薦理由

赤松文治氏は海外のバンド事情とその音楽に大変精通されていて、諸外国のバンドの歴史、活動状況を専門誌、レコードの解説を通じて永年にわたって私達に示してくれた。様々な吹奏楽曲に関しても、作曲家のこと、楽曲そのものに対する考察を氏の保有されているぼう大な資料によって行い、私達に多くの知識を与えてくれた。バンド・ジャーナル誌に連載された「海外のバンド」や今も継続中の「海外のバンド・レコード」またディスクのライナー・ノートに於ける氏の記述は多くの知られざる内容を提示しているものとして、大変貴重なものである。氏の永年の吹奏楽の研究と成果に対して賞を贈ります。

#### 推薦内容

「吹奏楽大全集」クラウン・レコードから発行されたCD15枚の陸・海・空自衛隊音楽隊の演奏による行進曲、オリジナル曲、クラシックという幅広い全集、氏の選曲、監修で制作された。「栄光のギャルド・レプブリケーヌ吹奏楽団」これだけこの世界的吹奏楽団の歴史と活動状況を集めたものは世界でも類がなく、フランスの管楽史、吹奏楽史を知る上で貴重な本。バンド・ジャーナル誌に現在も「海外のバンド・レコード」を執筆継続中。

#### プロフィール

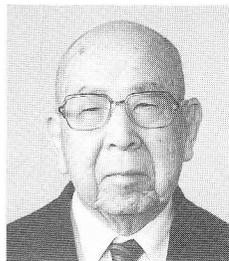
昭和14年現一橋大卒、同年現東芝入社。学生時代から吹奏楽に興味を持ち、海外から吹奏楽関係雑誌、図書、レコードを蒐集したが、戦災で全部焼失・戦後再び蒐集をはじめ現在これらの資料を多数保有。

昭和12年から「プラスバンド喇叭八鼓隊ニュース」「吹奏楽月報」「吹奏楽」「音楽倶楽部」「音楽世界」などに約40回寄稿。戦後昭和29年以来「吹奏楽研究」に廃刊まで約25回寄稿、のちバンド・ジャーナル」に創刊以来今日に至るまで毎月執筆。レコードのライナー・ノート執筆は約100枚に及ぶ。

## 1992年 第2回日本吹奏楽アカデミー賞

### 啓蒙部門

大森喜代三郎殿



大森喜代三郎

#### 推薦理由

名古屋に本社のある大森石油株式会社の取締役会長。愛知県「一宮市消防音楽隊」の生みの親、育ての親であり、現在同隊の名誉隊長。明治28年に発足した全国でも類を見ない音楽隊「一宮軍楽会」の灯りを守り続け、昭和9年には全国初の消防音楽隊に再編、同隊の隊長兼指揮者として活躍。一方、昭和44年には私的な大森石油株式会社の社員による吹奏楽団「大森バンド」を結成、二つの吹奏楽団を通して永年に亘り青少年の健全な育成と、地域文化の向上に寄与貢献された功績、及び物心両面におけるご尽力と情熱は高く評価されるべきと信じ推薦理由とする。

#### 推薦内容

1. 「一宮市消防音楽隊」91年度音楽活動  
恒例の一宮市公共行事、小中学校での音楽鑑賞教室及び吹奏楽指導等、約30回の演奏活動。
2. 「オーモリウインドアンサンブル（大森石油）」91年度音楽活動  
各学校依頼による音楽鑑賞教室等10回の演奏。特に、往復8時間以上かけての出張演奏による僻地への啓蒙度大。

#### プロフィール

明治43年生まれ。昭和2年、明治28年に誕生した音楽隊を先輩よりバトンタッチ。昭和9年一宮市消防音楽隊誕生（全国初）。隊長兼指揮者となる。昭和36年、40人編成に改革。昭和44年同音楽隊の指揮者を降り、「大森バンド」結成。昭和62年、一宮消防音楽隊隊長を退き、現在名誉隊長。「オーモリウインドアンサンブル」代表。